

ボランティアスタッフ研修(野外の部)

- 日 時：平成22年10月27日(水) 10:30~14:30
- 場 所：東京大学 秩父演習林(埼玉県秩父市)
- 天 気：晴れ
- 講 師：東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授
石田 健 先生
- 参加者：ボランティアスタッフ 38名、理事 2名、事務局 3名 (計43名)

秋たけなわの季節、今年度の「ボランティアスタッフ研修(野外の部)」は、東京大学秩父演習林にお世話になりました。

西武秩父駅近くの秩父農林振興センターに集合し、会議室にて森林学・動物生態学の権威である石田先生より、「秩父山地の森林と動物」と題する講義を聴きました。先生から、「秩父の地形はかつて海であったところが隆起してできたため急傾斜となっている。アカゲラ・アオゲラなどのキツツキ類、きれいな色彩のカケス、数は少ないもののオオタカ・ツミ・ハヤブサといった猛禽類など、多種の鳥類が観察される。多くのスギ・ヒノキの人工林の間に、ヤマザクラ・コナラなどの広葉樹林が存在する。」というお話を、貴重なスライドを見ながら聴くことができました。

一方、先生が長年に亘って研究されてきたミズナラのドングリなどを食物資源とするツキノワグマの生態についても紹介していただきました。また、クマを研究対象に選ばれたのは、シカやサルに比べて捕まえやすいからとの種明かしまでされました。

午後は、バスで約1時間の所にある演習林の樹木園での実習です。ループ橋付近から眺める山々の紅葉はまばらでしたが、大峰トンネルを過ぎた樹木園からの紅葉は見事で、標高差の影響の大きさを実感しました。

先生の説明を聴きながら樹木園を散策し、ワサビ沢展示室を見学したのち、バスで帰路につきました。

途中、5頭のニホンザルの見送りをうけるというおまけがつけました。



石田先生の講義



樹木園観察



わさび沢展示室